

佐倉市民オンブズマンの入札改革への取組みの成果

建設工事、H21・H22年度は予定価格より各5億円低く契約(落札率77%)

東日本大震災の被災者の皆様には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

任期末の2月定例議会 2月定例会は、2月21日(月)に開会し、3月14日に閉会した。

4月に市長選があるため、一般会計予算404億円(子ども手当35億円含む)は基本部分であり、その他の部分は新市長決定後に提案される。

また、市税収入は7億円の減額、地方交付税は15億円の増額予算である。

同じく選挙を迎える市議会議員の定数は28名(2名削減)となるが、次期選挙の立候補予定者は、40名を超えようとしている。

入札改革への取組み 佐倉市民オンブズマンは当初より、入札改革に取り組んできた。その結果、H17年度から全面的に一般競争入札となった。

率77%まで下がり、予定価格より各5億円安い契約金額となり発注されている(詳細裏面)。

佐倉市職員

給与是正への取組み

佐倉市民オンブズマンは職員給与の是正を8年間追求してきた。その結果、H16年度には約7億円もあつた国基準への不適正な給料への割増手当は、H22年度には6千万円になる。即ち、6億円も減額した。驚くべきことに、過去33年間の不適正な割増金額は累計約130億円に達する。

佐倉市民オンブズマンの今後の取組み

次期は、県政と市政に総合的に取り組む考えです。

千葉県は長年の不正経理を早期に防止できませんでした。議会のチェック能力も不足し、現職議員には反省を求めざるを得ません。

情報公開が不十分、行政委員会の機能不十分など多くの問題を抱え、危機的状態とも言えます。

それに対し、県民オンブズマン活動をあらゆる場で展開し、行政をチェックし、税金の無駄遣いも防ぐ必要があります。皆様からの「調査要望、苦情の受付」にも強力に取り組んでゆきます。

2011年3月28日 発行：会派・佐倉市民オンブズマン &F485-5999



藤崎 良次

これまで、多くの皆様のご支援により情報公開を進め、税金の無駄遣いを無くし、問題点をあいまいにしない姿勢で取り組んでまいりました。

今後、安全、福祉、教育、環境、平和、住民自治を大切に、行政のチェックを行ない責任を明確にします。

ノボリ旗に関する公職選挙法違反

公職選挙法第14条16項により、道路上や駅頭などの街頭で、候補者の氏名、後援団体の名称を表示したノボリ旗は使用できません。

罰則は、同法24条1項4号により、2年以下の禁固又は50万円以下の罰金です。

(有権者が、選挙の規則を知り指摘すれば候補者はおのずと規則を破ることができません)

3・11大震災

東北・関東地方を襲った大地震は、甚大な被害をもたらした。被災者の方々には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

地震による被災地である旭市、香取市、茨城県潮来市の現地を3月24日に訪れ、被害状況を見た。

旭市の被害状況

銚子市の西隣に位置する旭市(人口約7万人)は、津波による大きな被害を受けた(死者13名、行方不明2名、建物全壊427棟等)。

中でも旭市の海岸近辺では、想像を絶するような状況が見られ、テレビの画面からだけでは伺い知れない甚大な被害の状況を実感した。旭市は、九十九里浜の北端にあり、津波の高さが高くなる地形のようであり、特に、海に注ぐ川や排水路に海水が逆流して被害を受けていた。

写真1は、海の近くの川にかかっていた橋が、流されて道路に乗った様子である。津波の勢い、量に圧倒される。

写真2は、津波によって破壊された家屋を片づけている様子である。

お話を聞いたおばあさんは海岸近くに住んでいるが、用事があつてその時間は家に戻ってくる途中。いつもなら海岸線を戻っているのだが、たまに高台の道路を戻っていて津波に巻き込まれずに済んだと恐怖を語ってくれた。



写真1



写真2

避難場所となつていている飯岡小学校を訪れた。2階3階の教室に140数名の方々が避難をされた。当日は卒業式も行われたようだが、ホッとする思いもある。避難されている方々の物資の不足は解消されつつあるようだが、不自由な共同生活を続けており、早い仮設住宅等の支援が求められる。

香取市の被害状況

香取市役所近辺は、利根川のが軟弱で、液状化が起こつた。電柱が曲がり、砂が噴き出し地盤沈下が発生し、砂があちこちにたまっている。(写真3)



写真3

緊急援助隊陸前高田市へ

(佐倉市他消防組合) 3月20日、消防組合から、17名が緊急援助隊(第二次隊)として、陸前高田市へ出発した(写真4)。消火隊、救助隊、救急隊、後方支援隊(資機材搬送車、災害対応多目的車)の5車両17名。千葉県隊としては、一次隊(119名)が3月13日に出発して、14日に野営場所に到着し、捜索活動を15日の朝から開始している。

今回の第二次隊(114名)は、第一次隊と交代し活動を始める。



写真4

今後は、物資による救援(市内のボランティアも始めている)、避難者の受け入れ(市でも岩名の青少年センター他で始めている)が大切となる。

オンブズマンとは 「行政苦情の解決や、行政の適正運用のために行動する人」の意。日本の場合、住民が自主的に組織し活動する「市民オンブズマン」が大きな比重を占め、情報公開を進め、官製談合や税金の無駄使いは正に取組み、住民監査請求や住民訴訟などにも取組み、成果を挙げてきました。

佐倉市給水情報(いずれも容器が必要です)：(佐倉市HPより) 防災井戸(8時~17時)佐倉東小学校・佐倉東中学校・間野台小学校・白井中学校・志津小学校・井野中学校・下志津小学校・上志津中学校・根郷中学校・和田小学校・弥富小学校 佐倉市役所 水道部前(8時半~21時) 志津浄水場(8時~21時)上志津原59(入場の際はインターホン使用) 【問い合わせ】佐倉市役所 TEL 043-484-1111